

平成 26 年度 京都保育研究集会 『すべての人が子どもと子育てに関わりを持つ社会の実現を目指して』

1. 目 的

保育・子育て支援を取り巻く状況は、今日大きな転換期を迎えようとしています。平成 24 年 8 月 10 日「子ども・子育て関連 3 法」が成立し、平成 27 年 4 月からの「子ども・子育て支援制度」の本格施行に向けて、地方版「子ども・子育て会議」においても具体的な運用に関する検討が進められています。

どのような制度のもとにおいても、子どもたちの豊かな育ちを保障するためには、質の高い保育を実践し、子育て家庭の支援や関係機関等との連携をさらに充実しながら、社会全体で育む子育て文化を醸成させることが大切です。

保育者の資質向上と、保育・子育て支援の拡充を目的として、(一社)京都府保育協会と(公社)京都市保育園連盟が手を携えて京都保育研究集会を開催します。どうぞご参加ください。

2. 主 催

京都保育研究集会実行委員会

(一社)京都府保育協会・(公社)京都市保育園連盟

3. 後 援

京都府 京都市 京都府社会福祉協議会 京都市社会福祉協議会

4. 日 時

平成 26 年 6 月 6 日 (金) 午前 10 時開会 (受付 9 時 30 分～)

5. 会 場

京都府立総合社会福祉会館 (ハートピア京都)

京都市中京区竹屋町通烏丸東入 (地下鉄烏丸線・烏丸丸太町駅下車 5 番出口)

Tel 075-223-8960

6. 参加者

京都府・京都市の保育園 (所) 園長・職員ならびに関係者

7. 参加費

2,500 円 (資料代 弁当代含む)

8. 申し込み先

京都府下の保育園は◆一般社団法人京都府保育協会事務局
(中京区竹屋町通烏丸東入)

Tel 075-223-8960 FAX 075-223-8961

9. 締 切

申し込み書に記入のうえ、5 月 20 日 (火) までにお申し込みください。
申し込み後参加を取り消されても参加費はお返しできません。

10. 参加費の支払い 振込又は当日持参のいずれかでお支払いください

11. 日 程

9:30	10:00	10:30	12:00	13:00	15:00
受付	開会式	講演会	昼食	分科会	終了

12. 講演

テーマ 「いやされない傷～脳画像から観た児童虐待～」

講師 友田 明美（ともだ あけみ）氏 福井大学医学系研究センター教授
子どものこころの発達研究センター教授

子ども時代に虐待を受けた影響は、人生のあらゆる時期に様々な形となって表れます。小児期の愛着障害として行動面では、異常な警戒心・過食・盗食・食欲不振・排便排尿障害・多動・過度の乱暴などが見られ、精神面では、様々な発達の遅れ・抑うつ・無表情・緘黙・パニック・チックなどが見られます。そして、思春期には非行（特に性的逸脱行動）・家庭内暴力・学校不適応・薬物やアルコール濫用などの問題行動が表れます。

そこで、友田先生は「子どもの脳は、発達していく中で虐待という激しいストレスの衝撃が、脳にいやされない傷をきざみつけてしまうのではないか」という仮説を立てて研究をされました。その結果を脳画像をもとに見せてくださいます。

被虐待児が心に負った傷は簡単には癒されません。回復可能なうちに虐待を発見し、社会的な支援を行っていくことが重要です。虐待が及ぼす結果の恐ろしさとともに、保育士の役割の重要性について改めて感じさせられる講演です。

13. 分科会

	テ ー マ	発題担当	指導助言
A	配慮を必要とする子ども や家庭への支援に向けて	【京都市】小松谷保育園 保育士 林由子氏 主任保育士 野上孝哉氏	神戸女子大学文学部 教授 大橋 喜美子氏
	気になる子どもに対する 保育者のこまり感(自主発表)	【京都府】州見台さくら保育園 園 長 藤本和寿氏	
B	家庭や地域との連携による 食育の推進	【京都市】西野山保育園 園 長 河田邦子氏	食と農のコンシェルジュ種 代表 伴 亜紀氏
C	公立保育所の使命と地域 社会での役割	【京都府】精華町立こまだ保育所 主 幹 伊藤治子氏 保育士 俣野裕美氏	文教大学 人間科学部 教授 櫻井 慶一氏

平成 26 年度 京都保育研究集会参加申込書

保育園名 _____

参 加 者 名	希 望 分 科 会	参 加 費	備 考
	分科会	振込 持参	
	分科会	振込 持参	
	分科会	振込 持参	
	分科会	振込 持参	